

## 茨木市立幼稚園のあり方について

### 1 経緯

市立幼稚園では、「すべての幼児に等しく教育機会を提供する。」という観点から、個別に支援を要する幼児を含め、できる限り受け入れ、集団の中で保育を行い、他者とのかかわりを通じて成長を促している。しかし、共働き世帯の増加などにより、保育所への希望が増加する反面、幼稚園の希望は減少している。これに対応するため、平成29年度から市立幼稚園5園を幼稚園と保育所の機能を併せた認定こども園に移行した結果、認定こども園では定員に対する園児数の割合が増加したが、幼稚園では減少が続いており、集団の形成が難しくなっている。そこで、現状と課題を踏まえた今後の方向性について外部委員で構成する委員会に諮問し、委員会の答申を受けて今後の方向性などを決定する。

### 2 現状と課題

#### 【現状】

#### (1) 市立幼稚園就園者数の減少

幼稚園7園の就園者数は年々減少している。

幼稚園定員	805人	H30就園者数382人 (47%)	
		R1 就園者数339人 (42%)	
		R2 就園者数278人 (35%)	( ) 内は定員充足率

#### (2) 保育需要の増加

保育所や認定こども園の保育部分の希望が増加している反面、公私立の幼稚園や認定こども園の教育部分の就園者数は減少している。

#### 3～5歳の就園状況の比較（各年度5月1日時点）

	H28	R2
幼稚園・認定こども園教育枠	4,391人 (53.1%)	3,924人 (50.0%)
保育所・認定こども園保育枠	2,995人 (36.3%)	3,452人 (44.1%)

#### 【課題】

現在の保護者のニーズは、保育所などの長時間かつ低年齢から子どもを預けられる施設にある状況がうかがえるが、市立幼稚園ではそのニーズに対応できていない現状がある。

そのため、就園者数が減少し、集団形成が困難となってきた。

### 3 今後の方針

#### (1) 幼稚園のあり方についての検討委員会（審議会）を設置。

検討委員会への諮問、答申を経て方向性を決定。

#### 【検討委員の構成（案）】

学識経験者 2名、茨木市PTA協議会（幼稚園）、私立幼稚園連合会、  
私立保育園連盟、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、市立幼稚園長会、  
市民公募 2名

#### (2) スケジュール

令和2年10月	委員の委嘱
11月～	検討委員会での検討（5回程度）
令和3年2月	検討委員会答申 方向性の決定